



ロータリーに
輝きを



川崎大師ロータリークラブ週報

例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 例会日: 毎週水曜日 PM12:30
 事務局: 〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カサ石井 1F
Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 42 期
 会 長 竹中裕彦
 副会長 坂東保則
 幹 事 岩井茂次
 S A A 飯塚元明

第 2021 回 (本年度 第 15 回) 例会 平成 26 年 10 月 15 日 雨

- 司会 飯塚 元明 SAA
 - 点鐘 竹中 裕彦 会長
 - 斉唱 ♪ソングリーダー 増田 昌美 会員
- 「君が代」「奉仕の理想」

- 本日のゲストの紹介 竹中 裕彦 会長
- ・昨年度米山奨学生 白 玉香 様
 - ・地区米山奨学金増進委員 牛山 裕子 様



- 卓話者の紹介 鈴木 昇二 会員
- ・米山学友会会長 バスネット・エソダ 様



- 来訪ロータリアンの紹介 水口 衛 親睦委員長代理
川崎 RC 山本 浩文 様

今週の花言葉

横山 俊夫 花委員長

アスチルベ 花言葉・・・[光沢]

東アジア、北アメリカに分布する植物で鉢植えは毎年花を咲かせる宿根草。花色は、白や赤、紫、ピンクなどがあります。



会長報告

竹中 裕彦 会長

1. 95-96 年度ガバナーの鈴木清次様をご逝去なさいました。謹んでご冥福をお祈りしたいと思います。溝口の宗隆寺でお通夜 10 月 18 日 18 時 告別式 19 日 10 時です。
2. ポールハリス・フェローの認証状が届いております。長島会員 4 回目、坂東副会長 1 回目、須釜会員 1 回目です。
3. ついでにベネファクターの認証状も届いております。竹中会長

幹事報告

岩井 茂次 幹事

1. 10 月は、会費 4 分割の方の納入月です。案内を出させて頂いておりますので宜しくお願い致します。
2. 他クラブの例会変更の案内を回覧しておりますので、メイクアップにお役立て下さい。

出席報告

出井 宏樹 出席委員

		会員数	対象者	出席	欠席	出席率	
2020	回	57	47	27	20	57.45	%
2018	回	57	48	30	18	62.50	%
前々回の修正・メイクアップ				9	修正出席率	81.25	%

メイクアップ

野澤 隆幸・林 鶴・矢野 清久・水口 衛

須山 文夫・秦 琢二・小林 勇次・永松 慎太郎

渡部 潤

各会員

		会員数	対象者	出席	欠席	出席率	
2021	回	57	44	25	19	56.82	%
2019	回	57	48	33	15	68.75	%
前々回の修正・メイクアップ				7	修正出席率	83.33	%

メイクアップ

渡辺 富士夫・白石 浩司・矢野 清久・石渡 勝朗

秦 琢二・船木 幸雄・内田 省治

各会員

9月ホームクラブ 100%

船山昭三会員・遠藤悦弘会員・鈴木幹久会員
 中村眞治会員・竹中裕彦会員・竹田正和会員
 横山俊夫会員・鈴木昇二会員・石渡勝朗会員
 牛山裕子会員・飯塚元明会員・高濱玲奈会員

12名

9月出席順位

4 2 5 % 横山俊夫会員
 3 5 0 % 中村眞治会員
 3 0 0 % 竹中裕彦会員
 2 2 5 % 鈴木昇二会員
 牛山裕子会員
 1 7 5 % 水口 衛会員
 1 5 0 % 嶋崎嘉夫会員・須山文夫会員
 飯塚元明会員・永松慎太郎会員
 1 2 5 % 船山昭三会員・増田昌美会員
 竹田正和会員・渡辺富士夫会員
 中村孝会員



スマイルレポート (ニコニコボックス)

坂東 保則 副会長

川崎RC

山本 浩文 様

・メーカーお世話になります。

鈴木 昇二 会員

・米山学友会長エソダさん、元気な卓話お願い致します。

牛山 裕子 会員

・米山学友会長エソダ・バスネットさんを月間卓話にお招き出来ました事、地区米山奨学委員としても嬉しく存じます。エソダさん宜しくお願い致します。

渡部 潤 会員

・先日、妻に綺麗なお花が届きました。心より有難うございました。

岩井 茂次 幹事

・昨日のファイヤーサイドミーティングAグループご参加の皆様、お疲れ様でした。

・バスネット・エソダさん、ようこそお越しくださいました。

竹中 裕彦 会長

・バスネット・エソダさん、ようこそ川崎大師RCへ！卓話楽しみにしております。

・ファイヤーサイドAグループの皆さん、昨夜はお疲れ様でした。ブレインストーミングは如何でしたか？B.Cグループも楽しんで下さい。

・地区大会チャリティーゴルフ大会参加の皆さん、強風の中大変でしたね。

・週末佐沼RC創立50周年記念例会に参加の皆様、しくお願い致します。

竹下 美代子 事務局員

・先週の移動例会では、大変お世話になりました。ありがとうございました。



本日のニコニコのテーマ

「バスネット・エソダ様

本日の卓話宜しくお願ひ致します。」

水口 衛会員・横山俊夫会員・坂東保則会員
 船山昭三会員・増田昌美会員・出井宏樹会員
 石渡勝朗会員・中村眞治会員・永松慎太郎会員
 細谷重徳会員・宮沢和徳会員・野澤隆幸会員
 内田省治会員・竹田正和会員・伊藤佳子会員

本日の卓話

「私の人生を変えてくれた米山奨学生の経験」

第2590地区米山学友会会長 エソダ・バスネット 様



私は今横浜国立大学の博士課程一年生です。米山学友会の会長を二年間続けてやっております。米山奨学生になって自分はどのようなことを経験したか、また、米山奨学生学友はどのような活動しているかということについて皆様とシェアできたらと思っています。

私の出身地はネパールの首都カトマンズの西にある小さな村です。4人兄弟姉妹の長女です。高校卒業後に日本にきました。日本の大学に入りたいということで来たのです。日本に来てから一年間半日本語を勉強し、それから日本の大学(学部)を卒業して、大学院を卒業し、今は博士課程に進学しました。途中で2年間ぐらい就職、社会人にもなったことがあります。日本は長くなりまし

て、今は8年目です。

ネパールについて紹介したいと思います。ネパールはインドと中国・チベットの間の国です。両方の国の文化がとても混雑している国です。面積は北海道の約2倍、人口は2600万人です。宗教はヒンズー教、仏教、イスラム教といろいろありますけれども、ヒンズー教は80%、仏教は10%ですけれども、私が誇りに思うところはヒンズー教でも仏教でもお互いに共存しているということであって、例えば、ヒンズー教の人が仏教のお寺参りに行き、仏教の人もヒンズー教のお寺に行かれたりしますので、その意味で宗教的には平和な国です。ネパールは多民族国家ですが、100以上の民族が住んでいて、60以上の言語が喋られています。ネパールの公用語はネパール語ですけれども、コミュニティによってそれぞれの言葉がありまして、日本語とネパール語が違うように別の言葉を喋られて、方言とかの問題ではないです。ネパールのお金はネパール・ルピーと言います。今は10円が8ルピーぐらいで物価がとても安い国です。20円があればノート一冊買えます。10円ぐらいで美味しいミルクティが飲めます。ネパールの平均寿命はとても短く、59歳と言われていています。結構若く亡くなる人が多いので、「若い人の国」と言われています。

ネパールと言えば、山ですね。山国です。世界で一番高い山エベレストがネパールにあり、8848mです。自慢して富士山の2倍以上ですと言って怒られていますけれども、私は個人的に富士山はとても美しいと思っていますので、それぞれ山の美しさがあります。ネパールはとても山に恵まれている国です。大自然の中にあります。世界では8000mを超える山が14峰あるそうです。その内の8峰がネパールにあります。

ネパールはとても寒い国のイメージですけれども、実はネパールの標高の差は60mから8000mの処まであります。なので、4000mの処まで人が住んでいて、その人たち、子供に「飛行機は何処を飛びますか」と聞くと「下に飛ぶ」と言われます。実際に山の上に住んでいて、下の方に飛行機が飛んでいるように見えます。亜熱帯ジャングルもありまして、それなりの動物、生き物が

います。民族が多いので地域によって、民族によって文化とか食べ物それぞれ違います。ネパールの挨拶はナマステと言います。

ここから少し話は変わりますが、ネパールは良いことばかりじゃなく、例えば、教育の面で見ると、字の読み書きができる人は59%とされています。60%も行かないです。学校に行ける人の数はとても少ないです。小学校の卒業率を見てみると今は大体85%とされているのですが、中学校に入ると半以下になり、45%に届かないのです。さらに、高校、大学、留学する人の数は減り、女性はもっと少ないです。その理由はいろいろあります。まず、国が十分な数の学校を作れてないとか、学校を作っても先生がいなかったり、いろいろな問題があります。そういう処にロータリーが入ったり、いろいろ支援をしたりして動く人が沢山います。こちらは私の実家から車で2時間ぐらい走ったところですが、(校舎はなく)青空授業です。子供が家事を手伝わなければいけない、(経済的理由で)学校に行けないとかいろいろな理由があります。

そういうネパールですが、私が何故日本へ留学したかというと、中学生だった時に日本人と出会う機会がありました。上智大学の学部生がネパールについて研究していて、私の家にホームステイされました。彼は英語を喋り、私も凄く英語を使いたいという気持ちだったので、いろいろな話をして「Japan」と言わせて、「Japanはどうですか」そういう話をした時に本当に日本という国に行ってみたいな思いました。

学校に行けない子が多いネパールで、私はちょっと恵まれたほうで学校に行けたのです。でも、帰ってきて家事はしないといけないですね。男の兄弟は学校に行くだけ、私の方は学校に行きながら家事を手伝います。そうすると日本の方から「エソダさんよく働くな、大変じゃない？」と言われました。私がそれは当たり前だったのです。「これは当たり前ですよ、女性は。」という話をしたら、「日本は違うよ、日本は女性の方が強いよ。」と言われて。(今日の例会場)の感じでは本当に女性が強いことがよく分かりました。

彼とは全然連絡もとったことがないんですけども、私の頭の中では一度日本に行ってみようという気持ちはずっとありました。高校を卒業した後、日本に留学したい、と言った時に、最初は反対されました。何故かという先ず、日本は遠い国、物価は高く、日本とネパールでは15倍も違うということでした。学費はとても払えない、両親には反対されました。就職して日本に住んでいるネパール人と結婚して行く等いろいろな提案がありましたけれども、自力でいきたいという気持ちを伝えて、何とか納得させて日本に来ました。約束したのは、経済的に迷惑かけないということ。「最初の学費、日本語学校の学費だけを払ってくれば、後は自分で頑張ります。」という約束をしてきたんですけども、日本に来たら現実が違っていて、今では、自分で考えたことを自分で話したいことを伝えられるんですけども、最初は全く日本語喋れませんでした。喋れる言葉は「私の名前はエソダです」位でした。日本語が喋れないと生活出来ないと感じました。アルバイトして頑張ると言いましたが、アルバイトをするのにも日本語が必要ですね。面接した時に、「日本に何年いるつもりですか」と質問されたのです。それで「つもり」という単語の意味が分からなくて、「つもり」ってなんですか、と聞いたら、「貴方は日本語が足りないから帰るなさい。」言われて、先ず、日本語を頑張らないといけないなあと思いました。

次は、物価がやっぱり高いです。アルバイトできないし、情報も入ってこないから最初は6畳の部屋で4人で暮らしたりして、苦勞した時があります。文化の違い、日本はとにかく忙しすぎる、何故人が走っているのと今でも思うんですけども。最初は特にみんなスーツ着て走っていたので今日は特別な行事でもあるのかなと、今日は祭りでもあるのかなと思ったら、毎日がお祭りでも何か大変だなと思った時もあります。

ネパールは結構コミュニケーションをお互いによく取るのです。バスに乗っても、どこでも「こんにちとは」、日本ではよく挨拶で「今日はいい天気ですね」と言うんですけども、ネパールは「ご飯食べましたか。」とか、「お名前は何か。」というのは挨拶なんです。

日本語学校を卒業してから帰ろうかと思ったんですけども、少しずつ日本語を覚えるようになって、日本食も食べるようになって、仲間も増えていくと留学、海外の生活が楽しくなって行きました。その後は大学に入ったり、資格の勉強をしたり、働いたりして学部4年生の時にこの米山奨学事業と出会う機会がありました。人生が変わった、と最初に言いましたが、本当にロータリーに入ってからは人生が変わりました。

私は普通の留学生で、勉強とアルバイトしかやってなかったですけども、こういう風に此处で喋られることも想像もしてなかったのです。先ず、ロータリーの奨学生、奨学金をもらってから経済的な支援を皆様から頂いているんですけども、これは本当に大きいですね。海外にいて私は今思うんですけども、留学とか、新しい所に行き、例えばその留学という目標だけを達成して帰るとするのはすごくもったいないですね。その国の人と交流をすとか、もっと勉強するとか、いろいろな所に行ってみるとするのが途上国の人には必要です。その余裕がなく、アルバイトにばかり専念すると、他のことが出来なくなります。奨学金をもらっているとアルバイトをする時間が減って、それで人と出会う機会がありまして、それは成長に繋がって行きます。これは大きなと毎年毎年さらに私はすごく実感しています。それから、日本に家族が増えたという風に思っています。第2590地区は本当に私の家だなと思っています。

視野が広がるということで、いろいろな方とそれはロータリーアンだけじゃなく、縦のつながりではなくて、他の留学生とも交流して、こういう分野もあるんですねとか、こういう勉強もあるんですねとか、こういう考え方もあるんですねとか視野が広がっています。異文化の理解ですね。ネパールの親善大使だという風に勝手に思っています。ネパールの本当の大使よりもネパールのことをPRしているのがこの間、大使に会った時「大使、私は貴方より頑張ってネパールのことをPRしています」と言いました。ネパールのことを紹介できるということは幸せなことだと思います。自分の国の文化を紹介したり、日本と他の国の文化を体験したりというのは自

分の視野がすごく広がっています。ロータリーと出会ってからはコミュニケーション力とか、チームワークの力、ロータリーのネットワーキングに私いつも感動しています。



社会奉仕活動について、前は全然知らなかったんですけど、理解するという事は、自分の当たり前と、相手の当たり前は違うということもロータリーに来てから交流を通じてよく分かりました。恩返しの気持ちとか、本当に勉強になっています。ということで、3.11の(東関東大)震災の後には、ネパール人コミュニティとロータリーの学友が集まって、向こうで炊き出しとか、私は民族舞踊を踊るので、そのワークショップをやっています。

実際に米山奨学生が何をやっているかと言うと、母国と日本の懸け橋になっているのです。私は何をできるかと言うと今は言葉ですよ。こういう風に日本語とネパール語をできる人がいるんですけども、やっぱりボランティアで通訳してくれる人とか、余裕のある人が少ないので、自分にできることは通訳かなと、例えば研修とか、外交官の交流の時に通訳をしています。

ネパールのためにも責任を持ちたい。学校が少ない、これをどうしようと、私は考えてなかったんですけど、ロータリーは途上国の教育支援をしていることに気付いて、私の世話クラブ戸塚ロータリークラブと話しをしたんです。ある小学校に給食の支援をしています。前は現金で給食の支援だけだったですけども、今は継続的・持続的に彼らの自主性でやって頂きたいということで、野

菜栽培を始めて、この間、私のクラブの十人と一緒にネパールに帰った時に行ってきました。ロータリアンが自由に参加しました。校長先生がとても熱心な方で、山の中に畑を作り、15種類の野菜を作りまして、その野菜を子供の給食に使う、残ったら市場に出して(売り)、そのお金を次の野菜栽培に生かすという活動を今体験的にやっています。

学友会は理事会を持っていて、その理事会もいろいろな活動をしています。例えば、気仙沼に行って、お金の支援をしたりして、それ以外にも、学友の支援・異文化理解、国際理解のワークショップとか講座を開いて、8月に私と中国の仲間が行き、私はネパールの話と踊りをしました。彼女は中国の話とか遊びを、気仙沼の小学校でやって来ました。年間を通じて、学友理事会はいろいろな交流をしています。ロータリアンと現役奨学生と、米山学友を結ぶ事をやっています。現在は(世界全体で)17000人以上の学友がいて、ロータリアンになる人も、いろいろな分野で活躍する人もいます。駐日大使になる人もいれば、その国の弱い人たちを手伝ったりしています。逆に、学友からロータリーに寄付するという活動もあります。

こちらはの間帰った時の写真ですけれども、彼女はミラーさんですが、1995年に米山奨学生だったのです。今はネパールに帰って、ネパールの日本大使館で働いています。彼女は正にその懸け橋とか、彼女と話をした時、米山奨学金をもらった時どれだけ自分が助かったという話をすごく、目をキラキラしながら話してくれました。私は今ネパールに帰ってもそういう仲間が、共感できる仲間がいて、日本で勉強したことが母国でも活用できるなとか、この奨学金はまたこの米山学友会というのは本当にすごく大事な事業だなと改めて実感することが出来ました。こういう奨学生とか、学友が沢山いますし、これからもどんどん増えて行きますので、これは日本と彼らの国の懸け橋とか、理解とか、平和の為に絶対に繋がると私は自分の体験を通して感じています。

これからも皆様の支援をお願いして、本日の卓話を終わります。本日はどうもありがとうございました。



9月28日川崎大師ローターアクトクラブ
炎の陶芸家 鈴木昇二会員による陶芸教室風景

スケジュール予定

10月29日 卓話
(株)ミナロ 代表取締役 緑川 賢司 様

次回例会 10月29日(水)

卓話

株式会社 ミナロ
代表取締役 緑川 賢司 様
「全日本製造業コマ大戦が目指すもの」

クラブ会報委員会

中村 孝/増田 昌美/牛山 裕子/内田 省治
永松 慎太郎/竹中 裕彦/水口 衛/須山 文夫

